

西田小学校同窓会会報 (NO. 3)

校長先生が交代されました。

西田小学校の校長先生には、同窓会の名誉会長をお願いしておりますが、この度4月1日付にて小崎佑校長先生が、区立永福南小学校校長として転出され、小山昌身先生が新校長として赴任されました。

同窓会としましては、ご在任中に暖かいご支援を頂いた小崎先生への謝恩と、小山先生に同窓会の名誉会長をお願いすると共に、同窓会の役員をご紹介申し上げる為に、役員有志にて両校長先生の歓送迎会を4月18日に行いました。

当日は、両校長先生の他に瀧瀬教頭先生もご出席下さり、同窓会役員は1期の下田修さんほか11名が参加して、高井戸駅近くの寿司「こいけ屋」で10時過ぎまで和やかで楽しい時間を持つことが出来ました。

小崎先生、有り難うございました。小山先生、よろしくお願い致します。

なお、小山校長先生より次のようなご挨拶をいただきました。

よろしく お願い致します 校長 小山 昌身

平成9年4月1日付で、区内方南小学校より、本校校長に着任致しました。もとより微力ではございますが、全力をつくしてまいりますので、前校長の小崎佑先生同様、よろしくお願い申し上げます。

さて、着任以来、早2ヶ月が過ぎました。この間、着任早々には、西田小学校同窓会の宇田川允敏会長さんがご来校下さり、ご丁寧なご挨拶を賜りました。4月7日には、入学式に同会長さんのご参列をいただきました。4月18日には、同窓会役員会の皆様により歓送迎会を開催していただきました。その時、出席された役員の方々が、夕刻にもかかわらずスーツをお召しだったのが、印象に残りました。とても上品な地域なのだと存じました。会の運びもなごやかで温みのあるものでした。ここは、杉並区の中の杉並区だと思った次第です。

さて、本校は初代校長の山極武利先生より数えて、小崎佑校長先生までで15代目となります。また本年は、創立以来55年目を迎える記念の年で、歴史のある学校だと存じます。50周年の折に同窓会が発足し、以後活発に活動を続けていると伺いました。同窓会を縦系とすると、地域の上品さ暖かさが横系となり、この縦(経)と横(緯)とがしっかりと織りあわさり、西田小学校のすばらしい教育の伝統となっているのだと思います。この経緯を誤ることなく進めてまいりたいと存じております。

6月1日には、会長さんのご来駕を賜り、創立55周年の運動会を挙行致しました。どの演技も見事な出来栄で、西田小学校の子供たちのすばらしさを実感いたしました。良い年に着任できたことを嬉しく存じております。どうかよろしくお願い申し上げます。

今年(平成9年)の同窓会総会について

同窓会は平成4年の創立以来、毎年6月に同窓会総会を行ってききましたが、毎年参加者が漸減傾向にあり、総会の在り方が従来通りで良いのか検討する為に、今年は総会を行わず、今迄に総会に出席頂いたことのある会員の意見をアンケートすることにしました。

アンケートは104通発送して、40名から回答がありました。結果は次のとおりです。

1. 同窓会総会の開催頻度について	1-5期	6-10期	11-15期	16-20期	21-25期	26期以降	合計
a 当面毎年開催が良い	3	3	2	3	0	2	13
b 隔年開催が良い	7	2	2	0	0	1	12
c 数年おき開催が良い	3	4	2	3	1	0	13

(1. の回答中、「不明」が2通あった)

2. 同窓会総会の内容について	1-4期	6-10期	11-15期	16-20期	21-25期	26期以降	合計
a ほぼ現状で良い	12	6	5	3	0	2	28
b 少し工夫した方が良い	1	4	1	4	1	1	12
3. 同窓会活動について							
a ほぼ現状で良い	12	6	3	5	0	3	29
b 少し工夫した方が良い	1	4	3	2	1	0	11

4. 最近同期会・クラス会をやりましたか

アンケートのあて先が特定の期に偏ったため、正確な結果にならなかったが、概して1-10期はほぼ毎年やっているようだが、11-20期はやってる／やってないが半々くらい、21期以降はやってないところが多いようである。

この結果につきましては、10月以降に次回総会開催の時期を検討する際の資料といたします。

平成8-9年度活動報告

- ・第5回総会 平成8年10月12日、西田小学校体育館で開催、出席者小崎校長先生以下71名。
 - ・役員会：H8年11月22日（総会・懇親会検討会）H9年1月25日、3月16日、4月20日、5月18日、6月8日（決算報告・承認）
 - ・学校行事への参加：卒業式（3月25日）、入学式（4月7日）、運動会（6月1日）に招待され、会長が出席した。
- なお、同窓会として、3月31日に小崎校長先生にお別れの、4月4日に小山新校長先生にご着任の挨拶に会長が参上した。また、4月18日に役員有志にて新旧校長先生の歓送迎会を行った。

平成8年度決算報告

収入の部	科目	金額	支出の部	科目	金額
	終身会費（新卒のみ）	80,000		通信費（名簿発送他）	638,581
	寄付金	757,500		印刷費（名簿作成）	793,975
	第5回総会・懇親会余剰金	43,729		（その他）	13,905
	バザー売上金	73,900		文具雑品費	21,096
	広告料（名簿掲載）	270,000		会議費	17,254
	預貯金利子	6,363		郵便為替手数料	18,101
	小計	1,231,492 円		小計	1,502,912 円（B）
	・前期繰越金	2,201,169 円		（A）－（B）	1,929,749 円
	収入合計	3,432,661 円（A）		次期繰越金	1,929,749 円

- ・資産の部・現金 14,427 円、預貯金・東京三菱銀行荻窪支店他 1,915,322円、合計 1,929,749円
- ・上記報告に対し秋山監査担当より適正なる会計処理であるとの報告あり、役員会で承認された。

会員数の動向（H9年6月3日現在）

平成8年9月現在の名簿記載者 1,330名、それ以降に既卒新入会 11 名、名簿作成時の記載漏れ 14 名、第54期（H9年3月卒業 114名より）入会 83 名、記載間違い（会費を振り込んだ親の名前で重複記載）－ 2名、合計 1,436名となりました。（名簿がお手元に届いていない方はご一報下さい。送ります）

上記の会員移動につきましては、追加・訂正・新入会者名簿を、この会報に同封致しましたので各自お手持ちの名簿に記入して下さい。

同期会・クラス会通信

◆「吉田勇先生の近況」 1期・志南哲夫

去る1月12日(日)のこと、上京していた同期の長谷川博一君と、小生の家内と3人で吉田勇先生宅を訪問しました。長谷川君は現在秋田市の日本赤十字秋田短大教授ですが、所用で上京する機会に、昨年8月の菊重先生の葬儀に出られなかったから、先生宅へお焼香に伺いたいのだという意向の連絡があり、我々夫婦も同行することにしたのです。家内は西田の同窓生ではありませんが、15年前の1月に1期生同期会を中目黒で催した折、お手伝い役を買って出た処から両先生のお見知り置きをいただき、その後も先生宅へ一緒に伺ったこともあるので、同様お参りしたいと云うものでした。

登戸で待ち合わせをし、昼食用にと寿司を買って先生宅に参りました。ご仏壇の横に花壇での菊重先生の写真が置かれてあり、在りし日のお姿やお声が如実に蘇って参りました。

お昼時になり、缶ビールと寿司で歓談致しました。話題は現今の混迷した我国の政治・経済の有様から始まって、落ちこぼれ置き去り学校教育への批判やら、カジノ賭博と借金で辞職した前狛江市長の話が出たりと色々でしたが、先生は全く耳が遠くなく、又力のある音声で大いに喋られ、ひょっとして落込んでおられないかとの懸念は全く感じられませんでした。長年の喧嘩相手が居なくなったのはずいぶん寂しいがね、と敬顔されましたが、以上まことに元気であったことを皆さんに報告する次第です。なお、普段お食事の用意は娘さんがして下さっているとのことでした。以上

◆「第3期生忘年会」 3期・花崎 聖

平成8年12月18日、午後6時、新宿マイシティビル内の「松遊」にて開催した。これに先立つ10月12日の総会では、集りが少なかったもので、当日の同期会に代って実施したものである。

まだ現役の会社勤めの人や、現役の主婦もおられるせいか、年末の多事多端の折柄、出席出来ない人も多く、総員14名(内女性が3名)であった。宇田川同窓会会長から、実状報告がされ、その誠実な仕事ぶりに、一同感心した後に開宴、疎開時代の苦しくも楽しい思い出話や、現在の忍び寄り老老現象の嘆きの話など、少人数ではあったが、賑やかな会となっていた。中でも庄巻は川村秀君の話、新聞紙上で同窓会のあることを知り、馳せ参じてくれた10月の総会に引き続き出席してくれた。卒業終了後、日本とロシアの貿易の仕事につき、日ロ交流に尽くしており、現在でもモスクワに駐在している由、日本には時々帰ってくるのだと云う。夫人はロシアの人で、現在は東京で家族と一緒に生活している由、モスクワに単身赴任ということで、一同をびくびくさせた。この会は今後も出来るだけ開催することにして散会した。尚、欠席者からは殆ど全員から連絡があり、次回に大きな期待を持つことが出来た。(出席者名省略)

また、3期同期会有志では、年2回、どうせなら有名コースでゴルフをしようということで、これまでに長竹・小金井・狭山・船橋と2組ほど楽しんでいる。

◆「わが5期(昭和17-23年)のこと」 5期・角倉二郎

私たちの同期は、まあまあ、良く集まるほうだと思ふ。西田小同窓会が結成されてからは、正規の同期会を総会の日取りに合わせてセット。大抵は、卒業時の担任で、なお要練たる粕谷博先生を囲むことになっている。これが定例の姿だが、そのほかに随時、さっと連絡がつく面々が集まっては、他愛ない昔話に花を咲かせ、時の経つのを忘れる。その都度、なにがしかの招集の理由はあるのだが、要するに、暫く顔を合わせていないというのが、隠れた最大の理由なのである。

名簿もかなり前から一応は整っていて、掲載は現在、男女ほぼ同数の60人。しかし、卒業の時も2クラスあり、学年全体では100人位はいたはずだから、とても、「わが期は名簿完備」と胸を張るわけにはいかない。むしろ、それからすると、4割のクラスメートが卒業から数えてさえ、50年間も消息不明、互いに音沙汰がな

いわけである。セピア色に変わった集合写真を眺めても、名前を思い出せないことが多くなった。思い浮かぶ顔

も次第におぼろになる。集まりのたびに、新たな音信はないかと尋ね合うが、これといった手掛かりもなく、いかんともしがたい。戦時疎開による転校や戦争直後の社会の混乱など、あの頃の時代環境の荒波が、このように同期名簿の欠落部分となって、その痕跡を刻みつけている。だから突然、消息の分からなかった人と連絡がついたり、10年、20年ぶりの参加者があると、皆にわかに嬉しくなり、会はその分さらに盛り上がる。

母校創立50周年への募金活動がきっかけとなって、同期の会合に顔を見せ始めた人がある。その後、新聞のお知らせ欄に載った同窓会総会の案内を見て連絡してきた人もいる。同窓会の結成と活動につれて、数こそ少ないが、確実に、私たちの横の輪も広がった。これが続くことを祈りたい。

ところで、私たちは昭和17年4月に学齢に達し、その多くは6月に西田が開校するまで、ほんの2ヵ月間だったが、近くの桃二か杉二に通っていた。だから、先輩たちと同じように、私たちも新設校の西田へ転校してきた世代に属し、その最後の年次にあたる。

公立小学校は、その1年前の昭和16年4月から国民学校と改称され、それが終戦後の制度改定まで続いた。したがって、屁理屈をこねれば、私たちは小学校を卒業したが、入学はしていない。その点、4期～8期の人たちは同じである。集団疎開のころ6年生だった2期の先輩たちから思い出を聞いていると、昭和20年3月に上級校受験のため、空襲の危険にさらされながら上京したという話が出てくる。（編者注・会報NO.1「東京大空襲・私の体験・目の前で母校が焼失」参照）だから、何となく国民学校も小学校と同じ6年制だとばかり思っていた。ところが、改めて史実で確認してみると、国民学校は初等科6年、高等科2年の計8年制（義務教育2年延長）だったというのである。ただ、それは戦局の悪化によって先延ばしになり、実行されなかった。もし、ことが予定通りに進んだとしたら、先輩たちがあの時期に受験上京することもなかったわけだ。それはともかく、国民学校制の下で私たちが入学したのは、正式には西田国民学校「初等科」ということになる。だが、そのような「初等科」と銘打った看板が西田ヶ丘の、あの校門に掛かっていたという記憶はない。看板は別にしても、正規の文書などではどうだったのか。教育制度に関する通史の本には、そこまでの詳しい記述はなかった。このように、西田の話になると、どうしても思いは遙か昔の、戦時期のことにまで遡ってしまう。若い同窓生たちは「これぞ、老人性症候群」というだろう。分かってはいるのだが、これ又、いかんともしがたい。

（注）お気付きの方もおられるかと思いますが、今年の「文藝春秋」2月号の「同級生交歓」で5期の角倉さん（朝日新聞社取締役）、志甫博さん（TBS会長）、樋口登喜雄さん（萬年堂本店社長）、中村通敏さん（奥村組専務）が紹介されました。

☆西田小学校のようす

もうだいぶ前に西田小学校を卒業して、小学校時代の生活は忘れてしまったのではないかと思います。大先輩から中先輩の皆さんに、もう一度西田のことを思い出して頂くために、また皆さんの時代とどんなに変っているか比べてみるのも一興ではないかと思います。

☆まず、右の表は今年の卒業生の進路状況と在籍の児童数です。

卒業生のうち、松溪中に進んだ子は

男子58人中48人（83%）、女子56人中35人（63%）、私立中にはそれぞれ0.9%、3.4%が進んでいます。

卒業生進路状況

卒業生	進路状況							計
	松溪中	宮前中	東田中	他公立中	国立中	私立中	海外	
男子	48	0	1	1	2	5	1	58
女子	35	1	0	1	0	19	0	56
計	83	1	1	2	2	24	1	114

西田小学校開校以来の卒業生

9,610名

平成8年度児童数(1996.3.1現在)

性別	1	2	3	4	5	6	計
男	39	60	54	62	52	58	325
女	27	39	33	51	42	56	248
計	66	99	87	113	94	114	573

参考までに昨年（H7年度）の卒業生の進路状況を見ますと、松溪中へ男子73人中54人（74%）、女子44人中28人（64%）、また私立中にはそれぞれ12人（16.5%）、13人（30%）が進んでいます。女子の私立中への進学が非常に多いことがわかります。

またH8年度の男女別構成比を見ますと、1年生は39:27、2年生60:39、3年生54:33と女子の数が圧倒的に少なく、学校としてはクラスの編成に悩んでいるそうです。

☆6月の給食献立予定表を見て下さい。

何とおいしそうな献立ではないですか。1ヶ月の間毎日違った献立で、楽しいお昼ごはんが楽しめるというものです。毎日コッペパン一個に脱脂ミルクなんていう時代は”遠くなりける”です。

☆教職員移動一覧・主な行事予定

今年は先生方の移動は少なく、手慣れた先生方で充実した授業が出来るのではないのでしょうか。

行事としては、10月28日に「西田まつり」があります。5・6年生が中心となって、色々な遊びの模擬店を出して下級生を遊ばせるという事のように。

わが同窓会も今年は「竹トンボを作ってみよう」という店を出して西田まつりに参加したいと学校にお願いしています。

11月14・15日の展示会もすばらしいもので、児童が作った木工品やクッションやパッチワークなどそのままガレージセールに出しても、すぐに売り切れになるような出来栄の物ばかりです。ここまで指導される先生方のご苦労もさることながら、子供たちもなかなかやるものです。15日は土曜日ですから、たまには、立派になった西田小の校舎を見がてら、子供達の作品も褒めにお出かけ下さい。

ご寄付のお礼とお願い

決算報告にもありますように、今年は名簿の発行・発送などに大きな費用が掛りましたが、一方において多数の会員の皆様から沢山のご寄付を頂き、どうやら会の資産を余り減らさずに過ごすことが出来ました。次頁にご寄付を頂いた各位のお名前を載せて感謝のしるしと致します。

6月行事・給食献立予定表

日	曜	学 校 行 事	給 食 献 立
1	日	運動会【開校記念日】	※牛乳は毎日付きます。
2	月	【振り替え休日】	献立は、部会により変更する場合があります。
3	火	委員会活動	アールスメイト・チキン・ポテト・スライス・果物
4	水	避難訓練	ごはん・おひたし・お味噌汁・お漬物・お茶
5	木	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
6	金	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
7	土	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
8	日		
9	月	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
10	火		スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
11	水		スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
12	木	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
13	金	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
14	土		
15	日		
16	月	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
17	火	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
18	水	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
19	木	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
20	金	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
21	土	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
22	日		
23	月	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
24	火	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
25	水	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
26	木	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
27	金	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物
28	土		
29	日		
30	月	学年別運動会【学年別対抗戦】	スライス・ポテト・チキン・ポテト・スライス・果物

☆6月の給食献立―手をきれいにあらわしましょう―

一学年は、給食が始まってから一ヶ月がたちました。どの学年の子も、おいしくいただいているようですね。ところで皆さんは、食事の前にはちゃんと手を洗っていますか？手には、目に見えないバイ菌がたくさんついています。汚れた手はまきかき、そのバイ菌もいっしょに食べてしまい、腹痛を招いたり、下痢をしたりという食中毒の原因となることがあります。食事の前には、石けんできれいに手を洗い、清潔なハンカチでふくという良い習慣を是非身に付けて欲しいものです。

平成9年度 教職員異動一覧

【退職】	用務主任	高 橋 伸(3年)	杉並区立方面会館へ(嘱託員)
【転任】	校長	小 崎 節(4年)	杉並区立永福南小学校へ
	教 諭	通 力 孝 彦(10年)	田無市立谷戸第二小学校へ
	教 諭	佐 伯 雅 子(6.11年)	高松市立半田中学校へ
【兼任】	校長	小 山 昌 男	杉並区立方面小学校より
	教 諭	増 田 潔	杉並区立南伊豆保健学校より
	司務主任	金 子 隆 紀	新設採用
	学芸員	中 川 澄	杉並区立杉森中学校より

平成9年度 主な行事予定

＜1学期＞	＜2学期＞	＜3学期＞
●4/7 始業式・入学式	●9/1 始業式・引き渡し訓練	●1/8 始業式
●4/21 1年生を迎える会	●9/12 水泳指導終了	●1/13 生活科教室(1年)
●4/22 遠足(3年)	●10/3 地区連合運動会(6年)	●1/19～31 校内書き初め展
●4/24 遠足(2年)	●10/13～15 移動教室(5年)	●2/20 遠足(6年)
●4/25 遠足(4年)	●10/28 西田まつり	●3/24 修了式
●5/1 演劇教室	●10/31 社会科見学(4年)	●3/25 卒業式
●5/2 遠足(6年)	●11/6 社会科見学(5年)	
●5/8 遠足(1年)	●11/14～15 運動会	
●6/1 運動会	●11/18 生活科見学(1年)	
●6/1 区連合音楽鑑賞教室(5年)	●11/20 生活科見学(2年)	
●6/9～11 移動教室(6年)	●11/26 区連合音楽会(5年)	
●6/23 水泳指導開始	●12/11 社会科見学(3年)	
●6/24 演劇鑑賞教室(6年)	●12/12 社会科見学(6年)	
●7/19 終業式	●12/25 終業式	

ご寄付を頂いた方のお名前(平成9年1月～5月末まで)

(第1期) 名取やよい 久保寺玲子 (第3期) 中部恵美子 岡本恵祐 笹川玲子 志加満久子 (第4期) 小島節子 小池弘子 (第5期) 三浦靖子 森重子 (第7期) 宮本和代 (第8期) 奥山信子 山岸忠広 (第9期) 梅林俊一 宇治川多嘉子 星野秀雄 (第10期) 志村洋子 木田拓郎 (第12期) 宇田川光男 (第13期) 小玉清 緒方孝平 (第14期) 野村直子 猪瀬敏夫 (第15期) 川村博志 (第16期) 岩見吉朗 (第18期) 名古屋真 (第19期) 奥田悦子 古畑由美子 東俊光 (第24期) 飯島正之 (第44期) 岡本朋祐 (第50期) 望月雄介 奥井英和 (第51期) 妹尾太輔 宇田川龍 (第52期) 高木美佐 野口諒子 (第53期) 塚原翔 (第54期) 内村克也 (期不明) 坂本嘉

♥♥ご承知のとうり、同窓会は皆様の終身会費とご寄付にて運営されております。これからの同窓会活動としては会報の発行、完全な名簿の作成、西田小・地域への貢献、有益な講演会の開催などを考えておりますので有志の方は同封の振替用紙でご寄付をお願いします。

長野県の県歌 信濃の国 の歌詞と楽譜

同窓会総会の後の懇親会の最後に、老害と云われながらも「国民学校」時代の先輩が歌う「信濃の国」の正式な歌詞と楽譜をご紹介します。もっと見易いのが必要な方は、長野県東京事務所(03-3214-5651)にご請求下さい。

信 濃 の 国



○公 告

長野県の県歌を次のように定める。

昭和43年5月20日

長野県知事 西沢 徹 一 郎

信 濃 の 国 後 井 清 作 詞

- 1 信濃の国は十州に 峻嶒なる国にして
 登ゆる山はいや高く 渡るる川はいや遠し
 松本伊那佐久善光寺 四つの平は肥沃の地
 瀬こそなけれ湯さわに 万す足らぬ草ぞなき
- 2 四方に登ゆる山々は 新緑風林鶴ケ岳
 浅間山麓に活火山 いずれも国の宝なり
 腹れぬまづゆく水は 北に京川千曲川
 南に木曾川天竜川 これまた国の宝なり
- 3 木曾の谷には真木茂り 瀬助の淵には魚多し
 民のかせぎも豊かにて 五穀の実らぬ風やある
 しかのみならず桑とりて 蒸餾いの葉の打ちひらけ
 細きよすがも軽からぬ 国の命を繋ぐなり
- 4 烏ねまほしき園原や 床のやどりの夜更の床
 木曾の 筏 かけし世も 心してゆけ久米結蘭
 くる人多き筑摩の橋 月の名にたつ藤原山
 しるき名所と風物士が 詩歌に詠てぞ伝へたる
- 5 短村原義経も 仁科の五郎源盛も
 幸台太宰先生も 兼山佐久間先生も
 皆此国の人にして 文武の量たぐいなく
 山と麓えて世に仰ぎ 川と渡れて名は伝ふ
- 6 吾妻はやとし日本武 嘆き給いし彌米山
 穿つ越道二十六 夢にもこゆる汽車の道
 みち一筋にやびなほ 昔の人にや劣るべき
 古来山河の秀でたる 国は偉人のある国

(昭和6年の後井清直筆を基礎とし用字を一部改めた。)